

平成十八年十月十日提出
質問第六一号

シュレッダーによる幼児の指切断事故に関する質問主意書

提出者 高井美穂

シュレッダーによる幼児の指切断事故に関する質問主意書

家庭用シュレッダーによる幼児の指切断という痛ましい事故が相次いだ。経済産業省は本年九月十二日、シュレッダー関係団体からの報告の概要について発表しているが、事故の第一報を扱う消防署などからの情報が経済産業省にきちんと届いていれば、もう少し早く対策が取れていたのではないかと考える。

そこで、以下のとおり質問する。

一 前述の報告によると、一九八三年から二〇〇六年までの二十三年間にシュレッダーによる事故が三十五件発生しているが、もう少し早く、この種の事故の発生を認知して対策を取れば、痛ましい事故が少しでも防げたのではないか。政府として一連の事故についての対応に問題があったのか、なかったのか、どう考えているか。また、問題があったとすれば、どのような点で、どのように対応しようとしているのか明らかにされたい。

二 本年九月四日の電話での問い合わせに対し、同省は、静岡での今年三月の事故発生の第一報が消防通報（いわゆる一一九番）などどのような形で公官庁に入ったか掌握していなかった。この事故での現地からの第一報は、どの段階まで上にあがっていたのか。なぜ経済産業省に事故情報が届かなかったのか。ま

た、シュレッダーによる三十五件の発生の第一報がどのような形で入っているのか示されたい。

三 シュレッダー事故に限らず、湯沸かし器による事故など、消防署、警察から各自治体を通じての報告、さらに総務省、経済産業省など関係省庁の情報の連携が必要と考えるが、現状はどのようなシステムになっっているのか。また、今後の取組みについて政府の方針を示されたい。

右質問する。